［広報］ 鮫川村広報誌

さめがわ

2002 6

広報さめがわ６月号
平成14年６月１日発行（毎月１日発行）
通巻第 578 号

［特集］合併研究会ってどんなところ？



■ ほっとニュース

蛭田一さん（元村議会議長）
勲五等双光旭日章を受章 ほか

（表紙写真）
鮫川ふるさと春まつりスナップ（５月３～５日）



4月1日、合併研究会事務局の看板を掲げる各町村長（左から二瓶塙町長、藤田棚倉町長、芳賀鮫川村長）

合併研究会ってどんなところ？

現在、全国的に「市町村合併」についての論議が高まっています。
当地方でも、「市町村合併をしない矢祭町宣言」を決議した矢祭町を除く
鮫川村・棚倉町・塙町の三町村で「東白川地方三町村合併研究会」を設立し、
合併が必要かどうかを本格的に調査・研究し、協議しているところです。
さて、その合併研究会ですが、会の存在は知っていても、
いったいどんなことをしている組織なのかは、あまり知られていないようです。
そこで、棚倉町にある合併研究会事務局を訪ね、原正久事務局長に話を伺いました。

合併研究会ってどんなところ？

合併研究会（協議会）は、合併の是非について協議する場。必ずしも合併を前提とした組織ではありません。

事務局長に聞く

早期に法定協議会を設置し具体的な検討が必要

合併研究会は、四月一日から事務局に各町村の職員二名ずつが勤務し、本格的に調査・研究に乗り出したところです。

二月十三日に鮫川村役場で開かれた第一回目の会議の中で、合併の是非について議論を深めるためには「法定合併協議会」の設置が必要であるという結論に達したことから、事務局では現在、その準備作業に追われています。近くに先進事例が少ないということで、インターネットで情報不足をカバーしているというのが現状です。

なぜ、今の段階で法定協議会を設置し、協議する必要があるのか。それは、合併特例法による国の財政支援などの優遇措置が受けられる期限が平成十七年三月に、また、人口三万人以上で市制が施行できる期限が平成十六年三月に迫っているため、それらを視野に入れて具体的な検討をする必要があるからです。

住民の判断材料となる情報を提供

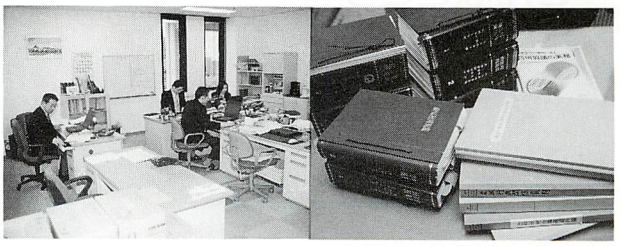
住民の皆さんの中に「法定合併協議会の設置は合併を前提としたもの」という誤解が生じているようですが、決してそうではないということを分かってほしいと思います。合併した場合のメリットやデメリットを十分に調査し、合併が有効なものかどうかを住民の皆さんに判断していただくために、さまざまな情報や機会を提供していこうというものなのです。

その第一段階として、六月中に講演会とアンケートを行うことにしています。そして、七月には各町村の議会に法定協議会設置についての議案が提出される予定になっています。

また、事務局の仕事で重要なのが、三町村の事務事業の現況調査です。各町村で行っているすべての事務や事業をそれぞれの担当者に書き出してもらい、水道料や保



東白川地方三町村合併研究会
事務局長　原　正久さん



事務局では、合併に関するさまざまな調査を進めています

さまざまな調査・情報収集に努め、住民の皆さんの判断材料となる情報を的確に提供すること、それが研究会の責務です。

育料などの状況を調査して、仮に合併した場合にどのように調整するかというもので、かなり時間がかかるものと思われます。

地域を見つめ直すきっかけに

今後、住民の皆さんの意向を十分に反映させるために、さまざまな調査・情報収集に努め、判断材料となる情報を的確に提供すること、それが研究会の責務だと思っています。

そして、住民の皆さんがこの問題について真剣に議論し、自分の住む地域を見つめ直すための絶好の機会となることを願っています。

（談）

これまでの経過

研究会では現在まで、毎月一回の会議を開催しているほか、先進事例の研修などを行ってきました。主な内容については次のとおりです。

■第一回　二月十三日（木）

合併に関する各町村や町村議会の状況報告、合併に対する考え方についての意見交換など

■第二回　三月二十六日（火）

四月からの研究会事務局体制、研究会予算並びに各種規程案などについて報告・協議

■第三回　四月二十六日（金）

法定合併協議会設置に向けた協議会規約案、協議会委員の人選方法などについて協議

■第四回　五月二十三日（木）

法定合併協議会規程、住民アンケートおよび講演会の実施、事務事業現況調査の実施などについて協議

■先進地視察研修

四月二十三日から二十五日にかけて、広島県・香川県内の合併協議会を視察。協議会での協議内容や住民の意見反映方法などについて研修

■パンフレットの作成・配布

各町村の助役・総務課長で構成する「東白川地方三町村合併調査



第１回研究会（２月13日）

講演会のお知らせ

小規模町村における

市町村合併の意義

～町村合併を考える～

■鮫川会場　6月9日（日）午後1時30分　鮫川村農業者トレーニングセンター

■塙　会　場　6月9日（日）午後6時30分　塙町公民館

■棚倉会場　6月10日（月）午後6時30分　棚倉町文化センター

※各会場とも所要時間は1時間30分程度。いずれの会場でも聴講できます。

■講師　小西砂千夫先生

こにし・さちお　1960年生まれ。関西学院大学経済学部卒、博士（経済学）。関西学院大学経済学研究科・産業研究所教授。研究テーマは税、地方財政、発生主義会計、市町村合併、財政投融資、東南アジア諸国の税務行政など。現在、大阪府特別顧問を務めるなど、各分野で活躍。

■主催　鮫川村・棚倉町・塙町・東白川地方三町村合併研究会

合併研究会ってどんなところ？

会」が住民向けのパンフレットを作成し、三月に全世帯に配布

今後の予定

■住民アンケートの実施

六月に各町村の十八歳以上の住民全員を対象にアンケートを実施し、三町村の将来についての意識調査を行います。

■講演会の開催

六月に鮫川村・棚倉町・塙町の三会場で「小規模町村における市町村合併の意義」と題して講演会を行います。

■法定合併協議会の設置

七月開催予定の各町村議会の臨時会に、法定合併協議会設置についての議案が提出される予定です。

市町村合併までの主な流れ

市町村の動きがきっかけになる場合

事前協議

- ●合併の検討をする話し合い
- ●合併研究会や任意の合併協議会といった組織が作られる場合が多い

住民の動きがきっかけになる場合

住民発議

- ●法定合併協議会の設置を住民が市町村長に対して請求
- ●市町村の有権者の50分の１以上の署名が必要

▼

法定合併協議会に係る各市町村の議決

【法定合併協議会の設置】

- ●合併することの是非を含めて、あらゆる事項を正式に話し合う場所（必ずしも合併を前提としたものではない）

▼

知事への設置の届け出

【市町村建設計画の作成】

- ●合併後の将来図とその実現方法を市町村建設計画にまとめる。
- ●市町村建設計画について知事との協議を行い、知事と総務大臣に送付する

▼

市町村合併に係る各市町村議会の議決

【知事への申請】

- ●関係市町村長すべてから申請

▼

県議会の議決

【知事の決定】

- ●知事が市町村合併を正式に決定
- ●市を編入する合併、新たに市を設置する合併の場合には、総務大臣の同意が必要

▼

総務大臣への届け出

【総務大臣の告示】

- ●総務大臣の告示により合併の効力が発生し、新市町村が誕生

平成17年３月31日まで合併する場合　（注）

遅くとも平成14年度中に、具体的に合併を協議する組織の設置が必要

↑

この間の協議には、最低でも１～２年程度要する

↓

遅くとも平成16年12月の県議会に提案が必要

（注）合併についての各種の行財政措置を定めた合併特例法の期限は、平成17年３月31日までとされています。

（資料）福島県広域行政推進指針

1 NEWS

蛭田一さん（元村議会議長）勲五等双光旭日章を受章

元鮫川村議会議長の蛭田一さん（渡瀬字福原）は、村議会議員として多年にわたり村政発展のために献身的に精励された功績が認められ、このたびの春の叙勲で「勲五等双光旭日章」を受章されました。

蛭田さんは昭和七年生まれの七十歳。昭和四十六年に村議会議員に初当選以来、六期二十四年にわたり村産業の振興、教育・文化・福祉の向上などに大きく貢献されました。また、昭和五十四年から六十二年までの八年間は副議長、昭和六十二年から平成七年までの八年間は議長を務め、議会の円滑な運営のために尽力されました。

勲章の伝達式は五月七日、福島市の知事公館で行われ、また、十日には皇居内で天皇陛下の拝謁を受け、感激も深く帰郷されました。

このたびの受章に対し、蛭田さんは「身に余る光栄です。長年にわたり諸先輩や同僚、地域の方々にご支援をいただいたたまものです」と、喜びを語ってくれました。



受章を喜ぶ蛭田さん

2 NEWS

西部・塚本地区（赤坂西野区）待望の水道施設が完成

西部地区営農飲雑用水施設と塚本地区用水施設が完成し、五月十三日、通水式がそれぞれの水源地で行われました。

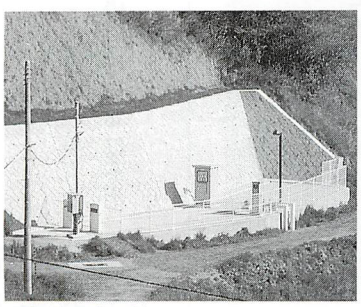
テープカットし施設の完成を祝いました



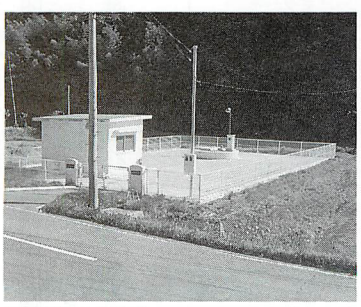
式には、地元関係者、村関係者、工事関係者などが出席。神事に続き、芳賀村長、藤田村議会議長、斎藤赤坂西野区長らがテープカットし、完成を祝いました。続いて、芳賀村長が取水ポンプの作動スイッチを入れ、給水を開始しました。

西部地区の施設は、平成十二年一月に着工し、今年二月に竣工。総事業費が二億三千五百十三万九千円で、給水件数は二十四戸、給水計画人口は九十七人です。

また、塚本地区の施設は、平成十二年九月に着工し、今年三月に竣工。総事業費が二億三十二万八千円で、給水件数は二十九戸、給水計画件数は九十八人となっています。



西部地区水源地



塚本地区水源地

3 NEWS

広がれ、子育ての輪

さくらんぼ教室が開級

いろんなことに挑戦するよ



村の子育て支援事業「さくらんぼ教室」が四月二十二日に開級しました。保育所に入所していない幼児とその保育者が対象で、今年度は十一組の親子が参加。来年三月まで月一回、調理実習や遠足、芋煮会などを行い、参加者間の交流を深めながら子育ての輪を広げていきます。

これから参加したい方、詳しい内容を知りたい方は、村健康福祉課健康係（☎49-3111、内線237）まで。

4 NEWS

ゲートボールで快挙

渡瀬チームが全国大会出場決める

全国大会出場を決めた渡瀬チームの皆さん



四月七日、県南地区ゲートボール大会が矢吹町で開かれ、郡代表として出場した渡瀬チームが見事準優勝を果たし、全国大会（ねんりんピック）出場を決めました。

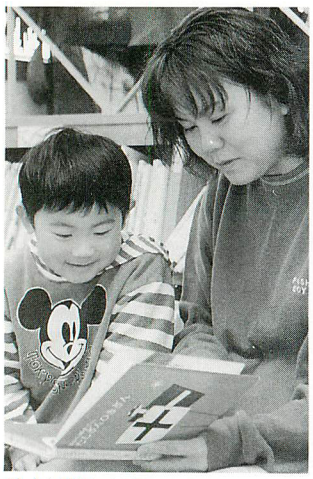
渡瀬チームは、選手全員が七十歳代の女性で構成され、熱心に練習に打ち込む姿は地元でも評判となっています。

なお、全国大会は今年十月二十・二十一の両日、本県石川町、矢吹町の二会場で開かれます。

5 NEWS

本に親しむ機会を

図書館で親子読書教室



絵本は楽しいね

村図書館では、五月十八日から「親子読書教室」を開催しています。幼児と保護者が対象で、十二月まで月一回、本の読み聞かせのほか、ビデオ鑑賞や工作などを楽しみます。

詳しい内容については、図書館（☎29-1150）まで。

6 NEWS

故郷の魅力、再発見

東京鮫川会ふるさと探訪ツアー

和気あいあいと柏餅づくりに挑戦



東京鮫川会の「ふるさと探訪ツアー」は五月十一・十二の二日間、「ほっとはうす・さめがわ」などで行われ、ふるさとの魅力を再発見していました。

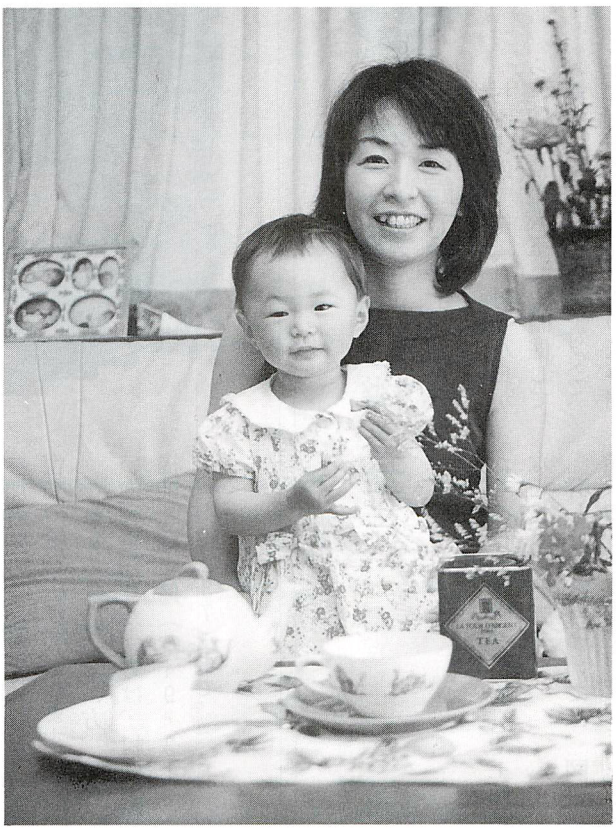
首都圏在住の会員など約三十人が参加。鹿角平観光牧場でバーベキューを楽しんだほか、山菜採りやそば打ち、柏餅づくりに挑戦しました。また、東京鮫川会創立十五周年を記念し、葉貫地内にヤマザクラ六十本を植樹しました。

随想
村民リレー
47人目

小湊洋子さん

Yoko Kominato

赤坂中野字宿ノ入在住



■洋子さんってこんな人！
こみなと・ようこ／昭和45年２月生まれ。趣味は１歳８カ月の長女を連れて「お子様ランチ」の食べ歩き。「本当は自分が食べたいから」と笑う。11月に第２子を出産予定、２児のお母さんとなる。

紅茶でリフレッシュ

今の私の一番の楽しみは、紅茶を入れて飲むことです。

最近、横浜に住む伯母が遊びに来て、お土産に「アフタヌーンティー」というお店のアールグレイ（茶葉の種類）を持ってきてくれました。この茶葉は、グレープフルーツのような香りがして、この香りをかいでいるだけで、気持ちがリフレッシュできます。

さて、この紅茶の入れ方のポイントですが、①ティポットとカップを温めておくこと。②茶葉をティポットに入れ、三分間蒸らすこと。そうすると、黄金色で香り高い、おいしい紅茶が出来上がります。

さわやかな香りの紅茶を味わいながら、外の景色を眺めていると、ゆったりとした気持ちに浸れます。

普段は子育てに追われ、慌ただしい日々を送っています。子育ては思い通りにいかず、イライラすることもありますが、「そんなに思うようにはいかないよ」と、子どもが私に教えてくれているような気がします。

これからも紅茶を楽しみながら、子どもとともに成長していけたらいいなと思います。

次は、國島教光さん（富田）にバトンタッチ！

俳句

緑陰の和む湯本の古希祝う　中井　恒峯
大漁の船着く港母子の声　金沢　暁舟
篭に優しく鈴蘭香る五月来る　山本　朗史
リヤカーの山うどを買う朝の路地　矢部　正子
鶯の声さわやかな五月晴れ　鈴木　友蔵
代掻くや蛙とけらが逃げまどう　小山田清哲
母の日の母の生方若葉風　斎須　信子
かたくりの花咲き続く峠道　北條素人坂
新緑に光あふるる古都の道　黒田　寿香
征きて還らぬ悲しみ新た諸葛菜　山本五十鈴

短歌

祖国の為散りし英霊の靖国に総理の参拝当然なりき　蛭田　浩市
五月晴れ若葉の風は薫り来て自ずと足を野に運ばせる　関根　米子
芋のみの食卓を思う戦時中を偲ばす今の芋煮会とは　大平　太平
水琴窟の音色聴きつつ酒を酌む二人の庭に花びらの舞う　前田　初
長い傘やっと引きずる園児の孫覗く五月の雲も微笑む　根本　恵智
病院の小窓に映る雲の冴え愁い

セピア色の
思い出
第31回



昭和７年５月
第１回乳児大会

提供／前田チヨさん・92歳
赤坂東野字前田

今からちょうど七十年前になります。昭和七年五月に「第一回乳児大会」が当時の鮫川村公会堂で開催されました。

大会では、鮫川母の会（現在の婦人会に当たります）が主催し、健康乳児（健康優良児）の表彰が行われました。

乳児の体重や健康状態などが審査され、この年は十人が表彰されました。（前田）

情報の泉
わくわく
WAKU－WAKU

催し・案内

●稲田志保子 電子ピアノコンサート ６月20日(木)18：30／東村文化センター／全席指定500円（未就学児は無料）／詳細…☎0248-34-3159

●企画展 化石芸術 「太古の生物が描く美の世界」 ６月30日（日）まで／福島県立博物館／一般・大学生300円、高校生170円、小・中学生120円／詳細…☎0242-28-6000

●県立美術館 土・日の小中学生、高校生常設展無料のお知らせ ４月から、小・中学生、高校生などの学校休業日（土・日・祝日および夏季・冬季・学年末休業日など）における常設展観覧料が無料になりました。ぜひご利用ください／詳細☎024-531-5511

募集

●「ふきのとう手話サークル」会員募集 手話に興味のある方は、ぜひご参加ください。小・中・高校生の入会も大歓迎です／定例会…毎月第２・第４火曜日19:00～21:00、村公民館／詳細…☎0247-49-3138（鈴木光子）

●「福島県文学賞」作品募集 募集部門…小説・ノンフィクション、詩、短歌、俳句／応募資格…県内在住者および県内の学校・事業所に在籍・勤務する方。ただし、学生・生徒については、県外勉学中の県人も含む／送付先…福島県教育庁文化課内「県文学賞」係（〒960-8688 福島県杉妻町2-16）／締め切り…７月31日(水)必着／規格・作品数・応募方法などの詳細…☎024-521-7786（県教育庁文化課内）

の一つ乗せてやりたし　坂本　雪絵

芝生には花見の宴の酣に童らも廻りて手振る足振る　森　芳子

足の引き合いくさし合いする国会の乱れに映る亡国の果て　関根　儀光

連休に大家族となるてんやわんやの明け暮れなれば老も忘れて　関根　瑞恵

健康が第一という年齢に衰えしるすも競技にかけて　阿久津夏子

いつしらに成長見せて帰省する孫の背に吹く若葉の風は　松本　由起

退院が間近になりしと妻の顔試歩が日課と活気が戻る　鷲野谷　満

子は遠し友また遠し海棠の五弁の花に春の雨降る　須藤美代子

改革の痛みは残り癒えもせずこのまま逝くか老のわが身は　松本　一郎

世も代り携帯電話パソコンとついて行けない老はわびしも　岡部　シゲ

誕生を祝う参賀の日は晴れて陛下のお声全身にきく　前田喜三子

毎日をわれは精出し枝打てば杉の梢でカラスが笑う　北條　平

初孫の結婚祝いは年金の細紐ゆるめ祝日を待つ　鈴木　クニ

三月程泊って居たがコップ酒一度も出ないと呆けの友が云う　前田　栄美

いきいき生活、応援します。

く・ら・し・の情報

Information

電話番号

市外局番（０２４７）

役場　☎49-3111（代）　ＦＡＸ49-2651

■ホームページ
http://samegawa.site.ne.jp/

■Ｅメール
samegawa@viola.ocn.ne.jp.

教育委員会	☎49-3151
	☎49-2247
図書館	☎29-1150
公民館	☎49-2247
農業者トレーニングセンター	☎49-3295
鮫川幼稚園	☎49-2358
学校給食センター	☎49-2113
鮫川保育所	☎49-2056
渡瀬保育所	☎48-2050
国民健康保険診療所	☎49-2028
ほっとはうす・さめがわ	☎48-2555
ひだまり荘	☎49-3600
さぎり荘	☎49-2205

保健

保健推進員が決まりました

村の保健推進員が改選になり、新たに30人が委嘱されました。任期は平成16年3月31日までの2年間です。

保健推進員は、村が実施する各種健診や保健事業への協力のほか、自主活動として各地区で健康教室などを開催し、地域住民の健康づくりのための活動を行います。

赤坂西野区　石井昭子（酒垂）面川瑛子（滝）高坂アキ子（浅屋敷）増谷浩子（荻ノ沢）藤田ヨシエ（岡田）

西山区　本郷幸子（沼野沢）関根悦子（水口）我妻久美子（落合）坂本和子（鍛治平）関根マキ子（戸倉）

赤坂中野区　鈴木リキヰ（馬場）湯坐喜美重（真坂）湯座セキ子（道少田）金澤てる子（前田）斎須信子（新宿）

赤坂東野・石井草区　早川敏子（広畑）前田重子（前田）渡邊千代子（滝ノ下）根本富子（葉貫）芳賀隆子（大石草）

富田区　矢吹朝子（中沢）大橋君江（前沼）小山田悦子（反田）

渡瀬区　大平君子（北中ノ町）小松サツキ（大戸中）芳賀喜久江（中山）藤田二美子（関口）

青生野区　大森真由美（青生野）堀川京子（青生野）堀川重子（青生野）

■**問い合わせ**　村健康福祉課健康係☎内線237

手続き

児童手当現況届

児童手当を受けている方は、毎年6月に「児童手当現況届」を提出することになっています。

この届け出は、6月1日現在における児童の養育状況を記入するもので、手当を引き続き受けられるかどうかを確認するための重要な手続きです。

届け出をしないと、受給資格があっても6月分以降の手当の支給が差し止められますので、忘れずに届け出てください。

現況届に必要な添付書類

①受給者が被用者（サラリーマンなど）の場合は、年金加入証明書（事業所の証明が必要）

②平成14年1月1日現在で鮫川村に住所がなかった場合は、前住所地の市区町村が発行する児童手当用の所得証明書

提出期限　6月28日(金)

提出先　健康福祉課福祉係

■**問い合わせ**　村健康福祉課福祉係☎内線236

農業者年金現況届

「農業者年金現況届」は、年金を引き続き受給する資格があるかどうかについて年1回、確認するための重要な届け出です。

まず、経営移譲年金・農業者

いきいき健康通信

歯から始める健康生活



村保健婦
蛭田みゆき

皆さんは一日に何回、鏡をのぞきますか。朝起きたとき、お化粧をするとき、出かける前、学校や職場などで…数えきれないかもしれませんね。では、鏡を使って口の中は何回見ますか。今、自分の歯が何本あるか分かりますか。毎日お世話になっている歯ですが、年齢を重ねるにつれ、関心を持たれることが少なくなっているように思います。

成人では、親知らずを除くと全部で28本の歯が生えます。そのうち20本以上残っていれば、高齢になってもスルメやタコの刺身、厚焼きせんべいといったかみごたえのある食べ物でもほとんど支障を感じずに食べるこ

老齢年金とも、受給権者が生存していることを確認します。さらに、農業再開など支給停止事由に該当していないこと、諸名義（農業共済組合・農業協同組合・土地改良区の組合員名義、転作助成金申請名義、農業所得納税申告名義）の変更が経営移譲の相手方に変更されていることなどを確認し、年金の適正な支給をすることになっています。

なお、届け出用紙は、農業者年金基金から直接、該当者に送付されています。

届け出該当者　平成13年6月30日までに農業者年金の裁定を受けた受給権者

提出期限　氏名・生年月日・住所を自筆して、6月28日(金)までに農業委員会に提出してください。

■問い合わせ　村農業委員会事務局☎内線245

募集

結婚相手を見つけませんか

県南地区青年交流実行委員会（鮫川村・棚倉町・浅川町・表郷村）では現在、結婚を希望する独身男女を募集しています。

対象　男性は鮫川村・棚倉町・浅川町・表郷村在住者に限ります。女性は特に居住地の制限はありません。

年齢制限　女性はおおむね30歳以上、男性はおおむね35歳以上とします。

事業内容　年間を通じてイベントなどを開催し、結婚相手との出会いの場を提供します。

申し込み費用　無料（ただし、イベント開催時には参加費を負担していただきます）

申し込み期限　6月28日(金)

その他　申し込みは、本人の同意を得てあればどなたでも結構です。

■申し込み・問い合わせ　村農業委員会事務局☎内線245

道路

道路整備に皆さんのご意見を

国では現在、道路予算の削減や道路特定財源諸税の暫定税率の問題、道路公団の民営化など、さまざまな検討を進めています。これらの問題が、直接あるいは間接的に本村の道路整備に大きく影響してくるものと考えられます。

国では、施策を決定するのに当たり、広く国民の声を聞くこととしていますので、インターネットで国土交通省道路局のホームページをご覧になり意見を書き込むか、ファックスでお送りください。

なお、役場建設課を通じてご意見をお寄せいただくことも可能です。

ホームページアドレス　http://www.mlit.go.jp/road/ir/index.html

ファックス　0120-373-813（フリーダイヤル）

■問い合わせ　村建設課管理係☎内線250

とができると言われています。

平成11年に国が行った調査で、80歳では平均して8本しか自分の歯が残っていないという結果が出ています。歯がなくなる大きな原因は歯周病（歯槽膿漏）とむし歯です。歯がなくなってしまうとよくかむことができなくなり、かむことの効果（食べ物の消化吸収や味覚、あごの筋肉の発達、歯並び、発音、いきいきとした表情をつくる、脳の発達など）にも影響を及ぼします。また、歯の健康が肺炎や心疾患、糖尿病、早産や未熟児出産など、全身の病気や胎児にも関係していることがわかってきました。さらに、おしゃぶりの使用や指しゃぶり、哺乳瓶を長く使うことが関係していると言われるかみ合わせの異常は、骨格にゆがみを生じさせることがあります。歯周病やむし歯も乳児期からの長年の生活の積み重ねで生じる生活習慣病の一つです。

「健康な肉体は健康な歯に宿る」。日ごろから歯の健康に関心を持ち、食習慣、歯みがき習慣に気をつけて、歯から始める健康生活を実践してみませんか。

お誕生

4月1日～4月30日届け出分



三瓶（さんぺい）　桜花（さくら）／女
平14. 4. 4生
住所／茅
保護者／直樹・奈緒美



水野（みずの）　萌香（もえか）／女
平14. 4. 12生
住所／宝木
保護者／守・由奈里

※訂正とおわび

5月のお誕生欄に誤りがありました。関根愛美ちゃんの生年月日は、正しくは「平14. 2. 18」です。ここに訂正し、おわび申し上げます。

おくやみ

4月1日～4月30日届け出分

住所	氏名	月日	年齢
福原	蛭田　貫男	3.31	67歳
田中	國井　嘉康	4. 3	73歳
真坂	小林　キク	4. 2	73歳
名下	薄葉　貞夫	4. 6	75歳
青生野	甲賀　イク	4.11	85歳
中山	山形　リン	4.16	92歳

人の動き

5月1日現在・（　）は前月比

人口	4,684人	(+11)
男	2,325人	(+ 8)
女	2,359人	(+ 3)
世帯	1,113戸	(+11)

寄付

4月1日～4月30日受理分・敬称略

▶社会福祉事業のために（金員）

…蛭田政信（福原）國井康典（田中）小林文雄（真坂）薄葉正一（名下）甲賀武美（青生野）山形貞男（中山）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

編・集・後・記

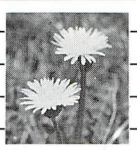
先月号で表紙デザインを変えたところ、多くの反響がありました。しかし、決して良いものではありませんでした。広報紙というのは幅広い年齢層が読むもの。そういう観点からの指摘でした。ということで、またまたデザインを変えました。反響があるということは、多くの方々に読まれている証拠。「広報さめがわ」は愛されているんだなあと実感しました。　（舟木）

生活情報カレンダー

曜日	行事など	保健関係
	6月	
1 土		
2 日	さわやか高原ロードレース大会　鹿角平観光牧場	㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 中島病院（石川町）☎26-3415
3 月	図書館休館日 人権相談　10:00～15:00　公民館	
4 火		
5 水		
6 木		
7 金		母親教室 13:45～　塙厚生病院
8 土	鮫川保育所祖父母参観日 渡瀬保育所保育参観日	
9 日	納税組長会議　11:00～　トレーニングセンター 町村合併を考える講演会 13:30～ トレーニングセンター 親子読書教室②　9:30～11:00　図書館	㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 中島病院（石川町）☎26-3415
10 月	図書館休館日	4か月・10か月児健診　13:30～　塙厚生病院
11 火	ＩＴ講習会(ワード初級)18:00～21:00 公民館 ～14日	リハビリ教室 10:00～　さぎり荘
12 水		さくらんぼ教室 9:30～　さぎり荘
13 木		
14 金		母親教室 13:45～　塙厚生病院
15 土	チャレンジスクール②　10:00～15:00　ほっとはうす	
16 日	歴史講座①　13:00～15:00　公民館	㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 石川医院（塙町）☎43-0003 中島病院（石川町）☎26-3415
17 月	図書館休館日	
18 火		
19 水	保育所開放日（鮫川・渡瀬）	社会復帰支援事業（やまぶきの会）
20 木	心配ごと相談　10:00～15:00　公民館	
21 金		母親教室 13:45～　塙厚生病院
22 土		
23 日	ボランティア養成講座「お話の森」③ 14:00～15:00 図書館	㊡緑が丘診療所（棚倉町）☎33-9468 中島病院（塙町）☎43-0373
24 月	図書館休館日	
25 火		リハビリ教室 10:00～ さぎり荘
26 水		
27 木	幼稚園保育参観日	
28 金		
29 土		
30 日	健康づくり夏季球技大会　青少年広場ほか	㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 木村医院（矢祭町）☎46-3528 浅川ファミリークリニック（浅川町）☎36-3705
	7月	
1 月	図書館休館日 村県民税・国民健康保険税・介護保険料(第１期)納期	
2 火		
3 水		
4 木		ポリオ生ワクチン投与 13:30～14:00　公民館
5 金		母親教室 13:45～　塙厚生病院
6 土		
7 日	登山教室① 親子読書教室③　9:30～11:00　図書館	㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 車田病院（塙町）☎43-1019 中島病院（石川町）☎26-3415









※㊡は休日当番医

広報さめがわ　平成14年5月号(第577号)
発行■福島県鮫川村　編集■総務課　〒963-8401　東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5　TEL0247-49-3111(代)　FAX0247-49-2651